

一般質問通告一覧表

令和6年6月第2回定例会

(全て 一問一答)

質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
6月5日	瀧見 明彦 (1) 「深日洲本ライナー」の運航による航路再生事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・深日港洲本港航路を再生させる目的はなにか？ ・これまでの取り組み内容と実績について。 ・航路再生事業での経済効果はあるのか？ ・令和7年度以降の運航について。 	担当部長 副町長
	大里 武智 (1) 今後の小・中学校について	児童・生徒数の減少が続く岬町において今年度・次年度そして今後の児童・生徒数と小・中学校のあり方について	担当部長 教育長 町長
	大里 武智 (2) 通学路の安全確保について	岬町通学路安全プログラムにおける合同点検の予定と安全確保の取組みについて	担当部長 町長
	奥野 学 (1) 来年、令和7年4月13日から10月13日まで、184日間大阪・関西万博が開催されます。多くの国内外の方々を岬町に誘導し、迎えるためのイベント等の検討について岬町の考えを伺う。	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント・物産展などの計画 ・ゴルフ場とのコラボ・屋外コンサートなど ・岬町内で宿泊できるように対策をとる ・イベント・出店・宿泊施設への補助金の創設などを検討していただきたい ・深日・洲本ライナーの令和7年度の計画はどうなるのか？ 	担当部長 町長
	奥野 学 (2) 深日地区における今後の公共下水工事予定について	深日地区向出北・向出南・門前・兵庫地区の工事計画はどうなっていくのか？	
	出口 実 (1) 有害鳥獣今後の駆除対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の町・国の補助金はいくらか。大阪府の有害鳥獣の助成金の活用はできないのか。 ・岬町の狩猟免許者登録数及び補助員の登録数は何名か。(令和元年から令和5年度迄) ・令和元年度から令和5年度迄の有害鳥獣の捕獲頭数は増加しているのか、減少しているのか。 ・鹿の出没が増えてきているが、どういうルートで岬町に入り込んで来たのか、車両との接触事故がおきているが、何件なのか？ ・今後、鹿の捕獲対策をどう考えているのか、必要とする経費をどう捻出するのか、農業公園の有害鳥獣対策をどう考えているのか。 	担当部長 町長
	道工 晴久 (1) 新たな岬公園事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックエリアの事業展開について ・民間事業者(PFI)への事業協力について 	担当部長 町長

裏面につづく

質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
谷崎 整史	(1) みさき公園について	収入の予想、3年延長の見直しによる収支、駐車場の扱い、店舗施設の賃貸料など、今後の「近隣商業地域」としての開発など活用について	担当部長 町 長
	(2) 図書館・公民館建設について	計画の進捗と議会特別委員会の提言について、基本計画づくりの方向性について	担当部長 副町長
	(3) 企業誘致について	多奈川第1、第2火力発電所跡地に商談中また大規模電材メーカーに進出が話題もあるが、現況と見通しはどうか	
	(4) シルバー人材センターなど外郭的団体の管理について	シルバー、社協、財産区また業務委託先など、とりまとめて会計監査、管理を行う外郭組織が必要ではないか？町の出資、補助金、委託金拠出をする団体の管理組織の必要性を問う。	
	(5) 行政・地域の連携・協業・群マネなど	大阪府基礎自治機能の充実及び強化に関する条例が施行されたが、市町の業務の連携・協業、また外化による事務や事業組合化など広域の地域を見越した連携についてどう考えているのか。	担当部長 町 長
	(6) 保育完全無償化	課税世帯の0-2歳第1子は、二分の一負担まで実行頂いたが、今後の見通しはどうか。年額町負担は、また保育士等の増加見込は？	
6月5日 中原 晶	(1) 岬町シルバー人材センターの健全な運営のために	①3月議会で質問した以下の点について問う。 ・昨年12月7日付でシルバー人材センターが刑事告訴した「横領(着服)の結果 ・シルバー人材センターから岬町に提出された「報告書」について ・草刈処分費の「領収書」の真偽について ②元事務局長の給与の増額を決定した経過はどうであったか。	担当部長 町 長
	(2) 自衛隊への名簿提供について	昨年6月議会の一般質問において自衛隊への高校・大学卒業の年代の名簿提供を行わないよう求め、岬町は名簿の提出をおこなっていないと確認した。今年3月議会の総務文教委員会においても同様であったが、大阪府が示している資料と食い違いがある。事実を確認する。	
	(3) 大阪・関西万博への子どもたちの「無料招待」について	大阪府は、大阪・関西万博に「学校行事」として子どもたちを「無料招待」する計画を進めている。万博会場では爆発事故が発生し、避難計画も作成されていないなど、学校行事として万博に子どもたちを連れて行くことは危険ではないかと危惧しているが、以下、質問する。 ①5月末までの各学校の参加の意向調査の結果 ②交通手段や熱中症対策、昼食場所の確保の計画 ③「学校行事」としての目的が果たされるのか ④2回目の「無料招待」の計画はあるか	担当部長 教育長 町 長
坂原 正勝	(1) AEDの有効利用について	・町内の設置場所と周知は？ ・救命講習の受講者数は？ ・AEDの位置検索・誘導アプリを導入してはどうか？ ・AEDに三角巾を設置してはどうか？	担当部長 町 長
	(2) 窓口業務の効率化と利便性の向上のために	・軟骨伝導イヤホンを導入してはどうか？	担当部長 町 長
	(3) みさき公園使用料について	・使用料が発生するタイミングは？ ・使用料の積算根拠としくみは？ ・暫定開園中の使用料は？	担当部長 町 長

質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
早川 良	(1) 災害時対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・水門の開閉時の安全対策や自動化の現状は？ ・河川見回り時の職員の安全管理体制について(ライフジャケット着用など) ・庁舎が使えない時の災害対策本部の設置について ・ペット同行避難の進捗について 	担当部長
	(2) 町職員の名札について	<ul style="list-style-type: none"> ・カスタマーハラスメント対策が必要では？ 	
	(3) 公共施設使用料について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の町内外在住者別の使用料を設けてはどうか？ ・施設維持を考慮した使用料への改定は？ 	
谷地 泰平	(1) 地球環境を守るゼロ・ウェイストタウンを目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理基本計画の目標達成状況と施策の実施状況は？ ・計画実現に向けた施策の進行管理の方法は？ ・資源ごみの収集・資源化の状況は？ ・美化センターのCO₂排出量は？ ・2030年は気候危機の「分岐点」。気候危機(地球温暖化)に対する町としての考えは？ ・ゼロ・ウェイスト宣言を行ってはどうか？ 	担当部長 町 長
	(2) 少子化反転のラストチャンスに向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・岬町の合計特殊出生率と2030年の人口予測は？ ・少子化の原因と解決しなければならない課題は？ ・これまでの少子化対策と成果は？ ・2030年までが少子化反転の「ラストチャンス」。少子化の実態把握と対策の推進に向けて「結婚・出産・子育てに関するアンケート」を行ってはどうか？ 	
松尾 匡	(1) 町の広報・プロモーションに、住民参画の仕組みをつくり、「協働」による広報の改革を！	<p>人口減少に歯止めをかけられていない今、急激な少子高齢化とともに、町の衰退がどんどん進んでいる岬町。今後は町として、移住定住者を増やす目標を掲げ、効率的・効果的な政策を実施することが急務です。また一方で、町の魅力を高め、効率的・効果的に町内外へ広報していくことも同時に必要です。それを今の行政の体制、今までと同じ方法で行っているのは、過去の実績から考えても、結果はほとんど見込めない中、町の考え方などをお聞かせください。今後は、住民の皆さんが行政へ参画する「協働」が、どれだけ実施できるかで、町の発展に大きく影響すると言っても過言ではありません。今や様々な広報媒体と方法が存在する中で、上手に町のPRをされている住民の方も少なくありません。そんな方々を発掘し協力してもらえるような仕組みづくりを提案します。また「協働」での町の広報の方法などについても提案します。</p>	担当部長 町 長
	(2) 町内で増え続ける空き家の対策とその再生や活用に、住民が参画できる仕組みをつくり、「協働」による空き家対策の改革を！	<p>人口減少に歯止めをかけられていない今、急激な少子高齢化とともに、町の衰退がどんどん進んでいる岬町。その結果、空き家も増え続けている状況。空き家対策を今後も同じ体制、今までと同じことをやっているのは、過去の実績から考えても、結果はほとんど見込めない中、今後の町の考え方などをお聞かせください。また、空き家バンク登録も活性化が見られません。そんな中、全国には空き家のリノベーション等により再生・活用している事例は既にたくさんあり、住民の皆さんが参画し「協働」する有効な制度の創設により活性化している先進自治体もあります。今後は、そんな「協働」がどれだけ実施できるかで、空き家解消に大きく影響すると言っても過言ではありません。そんな住民の方々を発掘し協力してもらえるような仕組みづくりを提案します。また「協働」での空き家の再生・活用方法などについても提案します。</p>	担当部長 町 長

6月6日